

山形大学工学部での研究活動

本校では高大連携の一環として、夏休みを利用して、山形大学工学部での研究活動を実施しています。今年度も5日間（8月22日～26日）にわたり、3年生3名、2年生1名の生徒が研究活動を体験しました。体験した研究活動内容については、今後報告書としてまとめる予定です。（順不同）

指 導 教 官	派 遣 生 徒
大学院理工学研究科 准教授 大 槻 恭 士 先生	斎藤彰人（3-2）
大学院理工学研究科 情報科学分野 助教 井 上 雅 史 先生	佐藤良樹（3-2）
大学院理工学研究科 准教授 夫 勇 進 先生	見川尚樹（3-2）
大学院理工学研究科 物質化学工学専攻 教授 神 戸 士 郎 先生	大谷雅輝（2-2）

地域文化学 特集 その3

1年生が「総合的な学習の時間」に取り組んでいる地域文化学。各班の活動内容を紹介しています。

1 班

1班は、山形大学地域教育文化学部川邊孝幸教授のご指導のもと、「小国町の地形・地質を知ろう」というテーマで、調査を進めています。小国町の全体的な地形を知るために地形の模型を製作したり、特徴的な地形や地質についての理解を深めるために、夏季休業中に現地に行つての観察や調査を行ったりしました。



6 班

地域文化学6班は、羽陽学園短期大学 佐々木達夫先生よりご指導いただき、小国町の福祉について調べています。小国町健康管理センターを訪れ、小国町の少子化と保育の現状について学びました。また、さいわい荘での研修では、介護のことを教えていただきました。小国町の人口の推移と社会情勢の変化について考えを深めていきたいと思い調査を進めています。

